

平成24年度 延岡青朋高等学校 自己評価(通信制課程) 一

『評価』は4段階の数値で行う。(4:十分達成されている 3:ほぼ達成された 2:やや不安な点がある 1:ほとんど達成されていない)

重点 目標	具体的な方策 (P)	結果と課題 (D)	自己評価		改善策 (A)	学校関係者評価		コメント
			(C)			評価		
			項目別	総合		項目別	総合	
1 学ぶ意欲 の向上	①レポート返送の迅速化	返送システムが確立し、迅速に行っている。	4	3	効率化を目指して更に工夫・改善する。	4	3	現状の分析等を詳細に行い課題や対策を良く検討している。目標を十分に達成していると感じる。
	②添削指導の充実	教科会が充実し、統一した指導が徹底している。	4		解説プリントを充実させる。	4		
	③教科会の充実	充実した協議が行われた。	4		新教育課程に十分に対応して実践する。	4		
	④保護者との連携強化	前より改善されたが多くの保護者との連絡や連携が十分ではない。	2		通信手段の工夫や花想会の充実を図る。	2		
	⑤キャリア教育の充実	全体計画を作成し、ようやくスタートラインに立てた。	2		具体的な研修を実施し、指導に生かす。	2		
2 コミュニケーション能力の育成	①自己表現力の育成	限られた時間の中で、全職員で指導にあたった。	2	2	受験前に必ず事前指導を行う。	2	2	十分な指導時間の確保が課題と考える。
	②面接技能の向上	十分な指導と練習がないまま受験する生徒がいる。	2		指導の時間を確保する工夫を行う。	2		
3 生きる力と 思いやりのあ る優しい生徒 の育成	①自己肯定感の育成	職員の働きかけで、徐々に表現できる生徒が出てきた。	3	3	スクーリングや個別指導等で肯定感を育む。	3	3	より効果的な指導がなされ高く評価する。多くの生徒が先生方に感謝しているのが伺え、高く評価する。
	②基本的な生活習慣の確立	全体的で統一された指導が困難である。	2		個別指導の機会を増やし、自覚を促す。	2		
	③学校行事の充実	地域や関係施設との連携により充実した取組ができた。	4		インクルーシブの考えを浸透させたい。	4		
	④生徒会活動の充実	計画的に継続して活動を行い充実した活動を行った。	4		生徒の自主性が更に尊重される体制作り。	4		
	⑤心身の健康保持増進	意図を確実に伝える手段が不十分である。	3		広報活動の方法や内容を工夫する。	3		